

8. 要介護認定制度等について

47

医療被保険者番号等の要介護認定申請書等への記入について

- これまでの累次の法改正により、
 - ① 令和2年10月より医療保険レセプト情報等のデータベース(NDB)と介護保険レセプト情報等のデータベース(介護DB)について、各データベースの連結解析を可能とするとともに、
 - ② これらのデータベースの医療・介護データの名寄せ・連結精度の向上に向けて、社会保険診療報酬支払基金等が、医療保険のオンライン資格確認のために管理する被保険者番号の履歴を活用し、正確な連結に必要な情報の安全性を担保しつつ提供することができることとされたところ。
- これを受け、介護データにおいて、介護保険法施行規則を改正し、医療被保険者番号等を、要介護認定等申請時に記入を求めることで取得することとした。なお、住民基本台帳やマイナンバー連携等により確認が可能である場合は、申請者に改めて記載を求める必要はないため、運用にあたっては留意いただきたい。
- 施行日については、「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律施行規則等の一部を改正する省令の施行(第2条関係)について(令和3年9月30日老発0930第1号)」で示しているように令和4年4月1日となるので、その運用に遺漏なきよう期されたい。
- なお、以下に運用上の留意点を記載するので参考にされたい。

【参考】運用上の留意点

Q1: 令和4年4月1日受付分から医療被保険者番号の記載がないと申請を受付できないということか。

A1: 申請書の記載事項となるが、記載されていないことをもって受付しないことは適切ではない。また、システム改修等については、引き続き準備を進めていただきたい。

Q2: 国保連へ電送する際に、令和4年4月1日から医療被保険者番号を入力しないとエラーになり提出ができなくなるのか。

A2: 提出ができなくなることはない。既に認定ソフト2021SP1の改修で入力できるようになっており、現在も入力せずに電送できている。

Q3: 医療被保険者番号の確認のため、申請者から被保険者証の写しを提示または提出してもらおうという理解でよいのか。

A3: 令和4年2月からマイナンバーによる情報連携が始まっているため、被保険者証の写しは添付書類の省略の対象になる。ただし、提示または提出を求めるかどうかの運用については、各保険者において適宜判断いただきたい。

Q4: 様式に枝番の欄があるが、記載は必須か。また、国保連へシステムで入力する際に枝番も含めて入力する必要があるのか。

A4: 枝番も必要な情報となるため、入力いただきたい。

48